

# 産地戦略

実施期間 令和8～12年度

実施主体 鳥取県みどりの食料システム推進プロジェクト協議会  
 都道府県 鳥取県  
 対象地域 鳥取県全域  
 対象品目 水稲



## 新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

## 目指す姿

鶏糞資材の活用によって化学肥料の使用量低減を図りながら、出荷量増加へと繋げていく

## 現在の栽培体系

□:元肥 ●:田植え ×:追肥 ▲:中干し ■:収穫

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名		□~□ ●~●	▲	~▲	× ~ ×	■~■	■~■						
技術名													



## グリーンな栽培体系

□:元肥 ●:田植え ×:追肥 ▲:中干し ■:収穫

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名		□~□ ●~●	▲	~▲	× ~ ×	■~■	■~■						
技術名		鶏糞資材を活用した 基肥施用技術											

## グリーンな栽培体系等の取組面積の目 グリサボの事業実施計画と同様の目

	現状R8	目標R12	備考
(参考) 対象品目の作付面積 (ha)	13600	▶ 13600	ひとめぼれ、コシヒカリ、きぬむすめ、星空舞の県内作付面積
グリーンな栽培体系の取組面積 (ha)	6	▶ 70	
環境にやさしい栽培技術の取組面積 (ha)	6	▶ 70	
省力化に資する技術の取組面積 (ha)	6	▶ 70	

**環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要**

**〈技術の内容・効果〉**

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	化成肥料などを用いた基肥施用	▶ 鶏糞資材を活用した基肥施用技術	化学肥料の使用量低減
		▶	

**〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉**

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	化学肥料使用量の低減 (kg/10 a)	<b>38.1</b>	▶ <b>15.9</b>	
		栽培マニュアルの施肥内容(2022年～2024年のコシヒカリ、きぬむすめ)		
			▶	
			▶	

\* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農業・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する(有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする)

\* 化学農業の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

**グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針**

- ・栽培マニュアルを基に指導会や研修会、イベント等で技術紹介を行い、実施面積の増加に繋げていく。

**関係者の役割**

関係者名	JA等	鳥取県 経営支援課農業普及推進室 鳥取県 農業試験場 鳥取県 各農業改良普及所	鳥取県生産振興課	
役割	技術指導 (普及所等と随時連携)	技術指導 (JA等と随時連携)	事務手続き等	

**その他**